

プレスリリース

報道関係者各位

2008年11月28日

佼成学園女子中学・高等学校

広報室

11/29（土）より、昨今注目を集める都立中高一貫校の願書配布がスタートします。国はこれら中高一貫校を受験エリート校にしないため、学力試験による選抜を認めず、代わりに「適性検査」という選抜方式がとられています。「適性検査」とは、学力調査のグローバルスタンダード「PISA」をもとにした試験です。

そこで私学の佼成学園女子中学校（東京都・世田谷区）もこれに足並みをそろえ、平成21年度入学試験より、全国の私立中学校に先駆けて「PISA（ピサ）型入試」を導入いたします。これにより受験生は、どちらかを選択して受験することができます。

■都立中高一貫校の願書配布開始日

立川国際中等教育学校 11/29（土）、桜修館中等教育学校 11/29（土）、

白鷗高等学校附属中学校 11/30（日）、両国高等学校附属中学校 11/30（日）、

小石川中等教育学校 12/1（月）、武蔵高等学校附属中学校 12/6（土）以上、各校HP調べ

■「PISA型入試」とは

OECD（経済協力開発機構）が実施する学力の国際評価基準「PISA（Programme for International Student Assessment）」とは、「知識や技能を実生活の様々な場面に直面する課題にどの程度活用できるかどうか」を評価するグローバルスタンダード。この基準で実施されるのが「PISA型入試」です。

■「PISA型入試」導入の理由

- ① 世界の趨勢・・・OECD（経済協力開発機構）による「PISA」は、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシー、問題解決を調査するもので、学力調査のグローバルスタンダードである。
- ② わが国の教育政策の趨勢・・・2008年告示の「新学習指導要領」では、「PISA」を意識した方向付け（「基礎・基本の習得」、「活用能力の育成」など）がなされた。
- ③ 東京都の公立中高一貫校の趨勢・・・昨今人気の公立中高一貫校で導入されている選抜方法「適正検査Ⅰ、Ⅱ」とは、「PISA型入試」の一例である。本校がこれに歩調を合わせることで、受験生が対応しやすくなる。
- ④ 「新しい学力調査」としての将来性・・・英語の能力調査の基準が「英検（実用英語検定試験）」から、「TOEIC」、「TOEFL」に移行しているように、今後この「PISA」の評価が高まると予想される。

■これまでの入試との違い

- ・ 「本当の学力」を評価するため、従来の「学校で学習した教科内容の理解度や定着度」ではなく、「子どもたちが将来、社会に参加したり、生活したりする力をどの程度身につけているか」をみる。
- ・ 各教科の基礎理解はもちろん必要だが、一つの教科の枠に収まらない、全教科横断型の問題が数多く出題される。
- ・ 「国語・算数・理科・社会」という科目別ではなく、「適性検査Ⅰ」「適性検査Ⅱ」という名称で出題。

■「公立中高一貫校型入試」という名称で、「PISA 型入試」と似た試験を導入している、東京都の私立中高一貫校は2校

日本橋女学館中学校（東京都中央区）、上野学園中学校（東京都台東区）

■詳細

別添の参考資料【学力調査のグローバルスタンダード「PISA」と「PISA 型入試」について】をご覧ください。

■本校の「PISA 型入試」実施日

2009年2月1日午後入試

- ・ 適性検査Ⅰ、適性検査Ⅱ（各45分、各100点満点）

適性検査Ⅰでは、図表読解力・国際理解力・身のまわりの事前現象などを問います。適性検査Ⅱでは、60字程度の記述問題や課題文を読み、それについての考えを問う500字程度の作文問題を出題します。

- ・ 基礎算数・国語（40分、100点満点）

基礎算数・国語は、基礎学力を問う問題を小問形式で出題します。

■佼成学園女子中学・高等学校について

- ・ 東京都世田谷区にある、中高一貫の私立女子校。
- ・ たおやかな乙女を育ててきた実績に加え、ここ数年の大学進学率向上（2年間で「G-MARCH」以上への合格率が約10倍）が受験界で話題に。
- ・ 校長の山本喜平太は、大阪薫英高校の副校長時代、底辺校を数年で進学校へと改革した実績を持ち、その手腕は漫画『ドラゴン桜』にも紹介されました。当時、新聞などでは「高校教育界のプロジェクトX」ともよばれていました。
- ・ 学力向上の柱は、「英語教育の強化」「ニュージーランド留学クラスの設置」「進学講習室の設置」など。
- ・ 佼成学園女子中学校はまだ、入試の偏差値はそんなに高くありませんが、「入るは易（やす）いが、出る才媛（さいえん）」という評価をいただいております。

■本件についての連絡先

佼成学園女子中学・高等学校 <http://www.girls.kosei.ac.jp/>

〒157-0064 東京都世田谷区給田 2-1-1 電話 03-3300-2351 FAX03-3300-2392

広報室 担当・江川昭夫（教頭） egawa@kosei.ac.jp

（ご要望がございましたら、本校スタッフをご説明に上がります）

以上